

6年生を対象に実施された本年度の全国学力・学習状況調査(4月18日実施)の結果が文科省より発表されました。個人の調査状況は、すでに担任を通じてお知らせしておりますが、亀山東小学校の学力調査概況及び児童の学習状況や生活習慣についてお知らせします。

なお、学力とは、知識や技能に加え、学ぶ意欲をもって自ら判断・行動し、よりよく問題を解決する資質・能力までを含めたものです。今回の調査結果は、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面を示すものでしかありませんが、調査結果を一つの指標として学校では分析・検証し、引き続き子どもたちの確かな学力・豊かな心の育成に向けて、きめ細かな指導に取り組んでまいります。

ご家庭や地域の皆様におかれましても、ご支援・ご協力よろしくお願いします。

1. 教科に関する結果の概要

	R5 年平均正答率		R4 年平均正答率		
	国語	算数	国語	算数	理科
亀山東小	61	54	69	64	67
亀山市	65	58	65	61	62
三重県	67	62	65	62	63
全国	67	63	66	63	63

※全国学力学習状況調査とは、小学校では6年生対象に、5年生までに学習した内容の理解度や定着度の確認と、生活の様子などを調査するものです。

※R5年度の調査教科は国語・理科の2教科、R4年度の調査教科は、国語・算数・理科の3教科で調査が実施されました。

国語、算数ともに全国や県・市の平均正答率を下回っています。各問題および内容別の結果から、学習の定着や既習事項の活用について課題がある状況となっています。

さらに、問題別に見てみると… ※正答率の高い問題(○) 正答率の低い問題(△) 改善に向けて(→)

【国語】○文章から原因と結果を読み取る。

○話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえる。

△同じ読みでいくつかの漢字がある「いがい」「きかん」を正しい漢字で書く。

△2つの資料を読んで、書かれている内容として最も適切なものを選ぶ。

→資料の読み取りや活用、言葉の選び方・漢字の書き取りを日常の教育活動の中で積み重ねる。

【算数】○2けた×2けたで求められるかけ算の文章題。

△3種類23人分のファイルを横に並べた時の長さを、式と言葉の両方を使って説明する。

△3角形の面積を求めるルールとその応用。

→日常生活に応用できる数学的な思考力の育成と、既習事項の復習。

2. 児童質問紙調査の結果より

※数値は、“あてはまる” どちらかといえばあてはまる”の合計値(%)



【学習に対する興味や授業の理解度】	R5 亀山東	R5 全国	R4 亀山東
国語の勉強が好き	66.1	61.5	68.4
国語の授業の内容はよくわかる	90.3	85.7	86.8
算数の勉強が好き	54.8	61.4	60.5
算数の授業の内容はよくわかる	79.0	81.2	82.9

国語に比べ、算数に関しては好き、よくわかるという児童が少なくなっています。

両教科とも授業理解度がもっと上がるよう、わかりやすい授業の工夫が必要です。



【主体的・対話的で深い学びへの指導改善】	R5 亀山東	R5 全国	R4 亀山東
課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ	85.5	78.8	92.1
考えがうまく伝わるよう資料や話の組立などを工夫して発表していた	62.9	63.7	68.4
話し合い活動で自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	87.1	81.8	89.5
授業におけるPC・タブレット活用 ★※週3回以上	88.8	62.4	56.6

PCやタブレットの活用について、授業での活用が定着してきていることがわかります。

一方で、資料や話の組立などを工夫して発表する場面を授業で設定するなど、相手を意識して伝えることについて取り組む必要があります。



【家庭における基本的な生活習慣・学習習慣】	R5 亀山東	R5 全国	R4 亀山東
朝食を毎日食べている	98.4	93.9	94.7
毎日同じくらいの時刻に寝ている	82.9	81.0	89.5
平日の勉強時間 ※1時間以上の回答	58.1	57.1	71.0
平日の読書時間 ※10分以上の回答	54.9	60.0	65.8



家庭における基本的な生活習慣で、朝食については良好な結果となっています。

家庭学習や読書については課題がみられますので、今後家庭と連携した学習や読書に取り組んで行きたいと思います。

【自己有用感・規範意識等】	R5 亀山東	R5 全国	R4 亀山東
自分にはよいところがある	91.9	83.5	90.8
先生はよいところを認めてくれる	96.8	89.8	96.0
将来の夢や目標を持っている	93.5	85.3	81.6
学校に行くのは楽しい	93.5	85.3	92.1
いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う	98.4	96.9	100.0
人が困っていたら進んで助けようとする	95.2	91.6	97.3

自己肯定感・自己有用感は、子どもたちの学習や生活の原動力です。子どもが様々なことに挑戦してみよう、やってみようとする意欲や取り組んでいる過程のがんばりを認め、励まし、褒め、引き続き子どもたちの自己肯定感・自己有用感を育てていきたいと考えています。

いじめに関しては、「いかなる理由があってもいけない。いじめの問題解決にはいじめ以外の方法で対応しなければならない。」ということ、7月7日の「いじめ予防教室」で弁護士のゲスト・ティチャーから学びました。

【地域や社会に関わる活動状況】	R5 亀山東	R5 全国	R4 亀山東
今住んでいる地域の行事に参加している	90.3	57.8	73.7
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている	88.7	76.8	51.4

本校及び亀山市の特徴として、地域との様々な関わりの多さをあげることができます。

コロナ禍以降それらの活動が停滞した時期もありましたが、子どもたちは地域との関わりが戻ってきたことを実感しています。

学校では、「地域とともにある学校づくり」に取り組み、地域の”ひと・もの・こと”から学ぶ学習を進めています。地域の皆様にはゲスト・ティチャーとして、子どもたちの学習に関わっていただき感謝しています。今後は学習活動を通して、子どもたちが地域や社会について考える学習を意識して取り入れ、地域への愛着を育てていきます。

国語・算数の教科学習については厳しい結果となりましたが、教職員一同心に留め、今後も課程と連携した学力の向上、一人ひとりの居場所がある学級・学校づくりに取り組んでまいります。